



森本 貴之 議員

ICT・AIの活用は

町長

申請などがいつでもできる



効率化と利便性は高まるか

【森本】ICT（情報通信技術）・AI（人工知能）の技術は、業界で人手不足が深刻化するなか、人に代わる労働力として、自治体でも導入の動きが活発化している。

こうした技術を活用し、期待できる住民福祉の向上は。

【町長】申請や申し込みの手続がいつでもどこでもできることが向上につながるかと考える。

【森本】行財政に与える影響は。

【町長】電子化、情報化、自動化によってコスト削減につながると考える

る。

【森本】子育て環境に期待される効果は。

【教育長】ICT環境が充実することで、育児をしながら仕事を続けられる環境づくりが期待される。

【森本】教育環境に期待される効果は。

【教育長】視覚的支援として活用することで、生徒の意欲や理解を高めたり思考を深めたり拡げることができる。

プレゼンソフトなどを活用することで、表現力やプレゼン技能を高めるなどの教育的効果がある。

ジビエ振興のビジョンは

町長

好循環を期待する

【森本】有害鳥獣の駆除と、特産品化は関係性の強いテーマである。ジビエは猟師だけでなく、広く認知されてきている。

ブランド力はどのようなどころにあると考えるか。

【町長】まだ無いと考えている。今後、極めて高い品質で出荷していくことで、本町のブランド力になると考える。

【森本】獣肉解体処理施設が整備されたことによるジビエ振興のビジョンは。

【町長】埋没処理されていたものが肉として有効活用される。それによって、猟師の収入も増え、猟友会の会員も増えるといったサイクルを回すことが重要と考える。

【森本】学校給食にも提供される予定と聞いている。食育やふるさと教育など教育面でのジビエ振興とは。

【教育長】ふるさとの恵みを大切にいただくということを意識したい。命の尊さ、自然への理解など、ふるさと教育を進める上でもよい題材と考えている。



新たな特産品となるか